

環境経営レポート

(運用期間:2022年12月～2023年11月)

森六自動車株式会社

2023年 3月15日

目 次

1. 事業概要	3 ページ
2. 環境経営方針	4
3. 環境負荷の実績と環境経営目標	
4. 環境経営計画	6
5. 環境経営計画に基づき実施した取組内容	7
6. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・ 取組結果とその評価、並びに次年度の環境経営目標 及び環境経営計画	8
7. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反・訴訟などの有無	9
8. 実施体制	10
9. 代表者による全体の評価と見直し結果	11

事業概要

(1) 事業者名
森六自動車株式会社
代表取締役 森 憲次

(2) 所在地
岡山県新見市新見1024番地5

(3) 事業の概要
自動車の整備と販売

(4) 事業規模
社員数 10 名
社屋床面積 691.7 m²

(5) 対象範囲
全組織

(6) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
環境管理責任者 森 憲次
担当者 森 憲次
TEL 0867-72-0696 FAX 0867-72-0698

2. 環境経営方針

● 環境理念

都会地とこの新見の町との環境の違いを若い頃から感じていました。高梁川の清流と山の空気の旨さを感じ、この地で自動車整備・販売を営む上で、この地域と人々に環境保全で貢献しなければならないと思っています。環境との共生、調和を最重要課題として認識し、自ら責任を持ち全従業員あがって環境負荷の低減に配慮した活動に取り組みます。企業活動のあらゆる面で、地球環境の保全に配慮して行動します。環境経営システムの継続的改善に努めます。

● 行動方針

環境理念に基づき以下の「行動方針」を定めます。

- (1) 経営における課題とチャンス进行明確化し、更なる取組効果の拡大・持続を図ります。
- (2) 二酸化炭素排出量の削減を推進します。(自社における削減)
電力・灯油・ガソリン・軽油などを削減します。また社有車における、エコドライブやエコ整備(環境配慮型製品の普及)を推進します。
- (3) 廃棄物を削減します。
- (4) 水使用量を削減します。また、適切な排水管理を行います。
- (5) エコ整備を推進します。(お客様における二酸化炭素の削減)(環境配慮型製品の普及)
自動車における燃費の向上による二酸化炭素の削減や、有害な排出ガスの削減を目ざし、エコ整備を推進します。
- (6) 自動車リサイクル部品の使用を推進します。
- (7) 化学物質(P R T R 該当物質)の適正管理をします。
- (8) グリーン購入の推進を行ないます。
- (9) 環境関連法規制等を遵守します。
- (10) 環境経営方針の周知徹底をします。

制定：平成17年4月1日

改訂：2023年12月1日

森六自動車株式会社
代表取締役 森 憲次

3. 環境負荷の実績と環境経営目標

(1) 環境負荷の実績

総量及び原単位当り数量		2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	kg-CO ₂	2,7868	25,982	20,585
電 力	k Wh	9,128	8,294	6,493
ガソリン	L	5,282	4,247	3,843
軽油	L	744	624	571
灯油	L	2,908	3,522	2,291
L P G	k g	21	65	47
廃棄物排出量	トン/年	2.984	4.427	6.667
水使用量	m ³	206	146	245

※産業廃棄物には、有価分を含む。

(2) 環境経営目標

二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水使用量は、2017年度実績から毎年1%ずつ削減する。

表一1 2022年以降の環境経営目標

総量及び原単位当り数量		2017年度 (基準) H29	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	32,986	31,337	31,007	30,697
廃棄物排出量	トン/年	4.564	4.336	4.290	4.247
水使用量	m ³	252.6	240.0	237.4	235.1
エコ整備	台数	14	14	14	14

エコ整備台数は今後ハイブリッドの普及等から多くを望めず、固定とする。

グリーン購入	事務用品コピー用紙等は JIS マーク用品の購入に努める。
化学物質 の管理	化学物質の取り扱い 塗装材料溶剤の保管量を管理する シンナー中 (キシレン、トルエン) が該当

4. 環境経営計画

1) 経営における課題とチャンス（社長、全員）

具体的取組を早急に構築するが、業務改善につながる精神で、E A 2 1 を取り組んできたので更なるレベルアップを図っていきたい。

2) 二酸化炭素排出量の削減（別所 正敏）

- ①引取・納車時、キャリアカーを使用しひとりで行う。
- ②ディーゼル車を軽自動車に替えていく。
- ③エコドライブを心がける。
- ④昼休みの照明消灯（減灯） およびパソコンは極力待機電力とする。
- ⑤室内空調は、夏は28℃、冬は20℃とする。

3) 廃棄物排出量の削減（新田 厚延）

分別を徹底し、再利用・再生利用の比率を上げるとともに削減に努める。
また、最終処分に回る分の削減に努める。

- ① 一般廃棄物：新聞紙、段ボール
- ② 産業廃棄物：金属クズ、廃油、廃タイヤ、廃バッテリーに分別
- ③ 裏面をメモ用紙として使用
- ④ コピー用紙や自社印刷物は再生紙を利用する。

4) 水使用量の削減（吉国 英昭）

- ①車両洗車用ホース先端に、ワンストップノズルを取り付けて節水している。
- ②入庫車両について重点・洗車箇所を判断の上、洗車する。
- ③雨水を貯水タンクに溜めて、車両洗車に使用する。

5) エコ整備・エコ車検の推進（別所 正敏）

- ① 来店のお客様に声をかけ説明する。
- ② 説明ツールを勉強し、活用する。
- ③ 展示会のときにエコ整備メニューを PR する。

6) 化学物質（P R T R）の適正管理（ 森 憲次 ）

塗料溶剤（シンナー）の使用量の把握を徹底。（トルエン、キシレン）

7) 自動車リサイクル部品使用の推進（森 憲次）

- ① お客様に、自動車リサイクル部品と新品との金額差を示す。
- ③ 使用済み車両の売却による部品のリユースを推進する。

8) グリーン購入の推進（森 喜久子）

- ① 名刺の再生紙使用の継続
- ② エコマーク作業衣への切り替えは完了
- ③ 文房具において、環境配慮商品の購入の推進
- ④ コピー紙は再生紙利用する、また裏紙を利用する

5. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

数値目標を達成するための取組

- 1) 二酸化炭素排出量の削減
 - ① 車両の引取納車をキャリアカー使用し行う。
 - ② 代車を軽自動車に変えていく。
 - ④ エコドライブを心がける。
 - ⑤ 節電に心がける。
 - ⑥ 室内空調は、夏は 28℃、冬は 20℃とする。
 - ⑦ LED照明設置。(2020 年実済)
- 2) 廃棄物排出量の削減 分別は徹底し、再利用・再生利用の比率を上げるとともに削減に努める。
 - ① 一般廃棄物；新聞紙、段ボール
 - ② 産業廃棄物：金属クズ、廃油、廃タイヤ、廃バッテリー
 - ③ 裏紙をメモ用紙として使用
 - ④ コピー用紙や自社印刷物は再生紙を利用する
- 3) 水使用量の削減
 - ① 車両の洗車は洗車機を利用する
 - ② 入庫車両の洗車箇所を判断の上、洗車する
 - ③ 地下水利用のスチーム洗車を行う
- 4) エコ整備、エコ車検の推進
 - ① 入庫車両に説明する
 - ② エコ整備メニューを PR する
- 5) 自動車リサイクル部品の推進
 - ① リサイクル部品利用による新品部品との金額差を示す
 - ② 使用済み車両の売却による部品のリユースに勤める
- 6) グリーン購入の推進
 - ① 名刺の再生紙使用の継続
 - ② 文房具において、環境配慮型商品の購入
 - ③ コピー紙は再生紙を利用する

6. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の環境経営計画

表一2

2022年度（2022年12月～2023年11月）の実績、環境経営目標の達成率

項目		2022年度の実績	2022年度の目標	達成率 %
CO ₂ 排出量	kg/年	20,585	31,007	151
廃棄物排出量（廃油）	Kg/年	4,742	4,290	90.5
水使用量	m ³ /年	245	237	96.9
環境配慮型製品の販売促進 （エコ整備）	台/年	11	14	78.6
化学物質（PRTR）の 適正管理（キシレン、トルエン）	kg	28（保管量）	適正管理	—

購入電力のCO₂排出係数：0.677 kg CO₂/kWh 中国電力 平成29年調整後。

① CO₂排出量：

目標 31,007kg/年に対し 20,585kg/年で目標達成率は151%で、達成です。残業を減らす、不要時の消灯、効率的な移動等、今後も継続した活動を行う。

② 廃棄物排出量（廃油）

目標 4,290kg/年に対して実績 4,742kg/年で、目標達成率は90.5%と未達成です。廃バッテリーの廃で注意する。

③ 水使用量

目標 237 m³/年 に対して実績 245 m³/年で、目標達成率は96.9%となり未達成でした。今後も継続した活動を行う。

④ 環境配慮型製品の販売促進（エコ整備）

環境経営目標（14台）に対して実績11台でした。
今後の動向として期待薄であり、広範囲な取組を構築していきたい。

⑤ 化学物資（シンナー）の保有量280。（トルエン、キシレン含有）

今後も保有量の把握を徹底するとともに、水溶性塗料への切換え等で削減を図りたい。

⑥ 次年度の環境経営計画

環境経営計画の見直し（環境負荷の削減に加えて、経営における課題とチャンスを中心課題とする）

7. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反・訴訟などの有無

表一3 環境関連法規などの遵守状況の確認

項目	能力・取扱量等	関連法規等	届出基準	届出要否	遵守状況
1)設備系列					
① スチーム洗車機 (SF-90GH)	40 L/hr	大気汚染防止法	伝熱面積10m2 又はバーナ能力50 L/Hr	該当せず	○
② スチーム洗車機 (SF-90GH)	6m3/日 (8 時間操業)	水質汚濁防止法	50m3/日	平成 28/7/19 届出	○
③ コンプレッサー	3.7 Kw	騒音規制法	7. 5kw以上	該当せず	○
		条例	地域指定		
		振動規制法	7. 5kw以上	該当せず	○
		条例	地域指定		
2)取り扱い物質					
④ 危険物	エンジンオイル等(1000ℓ)	消防法	少量危険物第四類 (指定数量 6,000ℓ) の1/5 以上指定数量以下	該当せず	○
⑤ 廃棄物					
・委託契約書 (許可証含む)		廃掃法	全て	対応済み	○
・マニフェスト		廃掃法	全て	同上	○
⑥ 廃車		自動車リサイクル法	全て	対応済み	○
フロン 本社空調設備		フロン排出抑制法	全て	対応済み	○
化学物質 (PRTR 該当物質)	シンナー 28ℓ (トルエン、キシレン)	P R T R 法		保管数量の把握	○

違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反や訴訟はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘もありません。

8. 実施体制

エコアクション21取り組み実施体制

代表者

1. 環境管理責任者の任命
2. 環境経営方針の制定
3. 環境経営システムの実施及び管理に必要な資源の準備
4. 環境経営システムの定期的見直しの実施

環境管理責任者

1. 環境経営システムの確立、実施及び維持するための処置
2. 社長に対し、環境経営システムの実施報告
3. 推進機関であってE A 2 1 EMS事務局の責任者として事務局運営
4. 環境経営システムの教育・訓練の計画・実施責任者

E A 2 1 事務局：

1. 環境管理者を補佐し、構成員の全員参画によるE A 2 1の運営改善を推進する。
2. E A 2 1 関連文書の作成、改廃、保管、伝達の業務を推進する。
3. 環境活動レポートの作成。

電力使用量管理者

水使用量管理者

紙使用量管理者

産業廃棄物管理者

燃料使用量管理者

以上

9. 代表者による全体の評価見直し・指示

弊社は以前から、環境への取組を通して業務改善により収益改善を図ることを根幹としてきた。

経営における課題とチャンスをも有効に活かし人材育成で、収益改善を図りたい。

1) 環境経営方針

森 憲次の代表取締役就任に伴い改定した。内容は維持している。

2) 環境経営目標の達成状況

CO₂ については、環境経営目標を達成できたが、その他はやや未達であった。今後は、如何に安定した取り組みを持続することが重要である。

3) 実施体制

森 憲次の代表取締役就任に伴い、代表者を変更している。現状の体制を当面、維持する。

4) 法規制等の遵守

環境への取組に関して、法規制の遵守が重要であり法改正等の情報を遅滞なく収集し 違反・訴訟等がないよう対応してほしい。

5) 代表者の指示事項

環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画を全員で理解し効果的な取り組みを期待します。

2024 年 3 月 15 日

森六自動車株式会社

代表取締役 森 憲次